

細菌性病害の防除に

# AG アグレプト水和剤

成分：ストレプトマイシン硫酸塩 25.0% (ストレプトマイシンとして 20%)



農林水産省登録 第 5655 号



## ●特長

1.ストレプトマイシン剤で野菜、果樹などの細菌性病害に優れた効果を発揮します。

## ●適用病害虫および使用方法

| 作物名     | 適用病害虫名       | 希釈倍数         | 使用時期     | 本剤の使用回数 | 使用方法                   | ストレプトマイシンを含む農薬の総使用回数   |
|---------|--------------|--------------|----------|---------|------------------------|------------------------|
| りんご     | 枝枯細菌病        | 2,000倍       | 収穫60日前まで | 3回以内    | 散布                     | 3回以内                   |
| なし      |              |              | 収穫75日前まで |         |                        |                        |
| もも      | せん孔細菌病       | 1,000~2,000倍 | 収穫60日前まで | 2回以内    |                        | 2回以内                   |
| すもも     | 黒斑病<br>かいよう病 | 1,000倍       | 収穫30日前まで |         |                        |                        |
| うめ      | かいよう病        | 1,000~2,000倍 | 収穫90日前まで | 4回以内    |                        | 4回以内<br>(樹幹注入は1回以内)    |
| キウイフルーツ |              | 1,000倍       |          |         |                        |                        |
| さるなし    | 花腐細菌病        |              |          | 開花前     |                        | 2回以内                   |
| キャベツ    | 黒腐病          | 2,000倍       | 収穫14日前まで | 3回以内    |                        | 3回以内                   |
| はくさい    | 軟腐病          | 1,000~2,000倍 |          | 2回以内    |                        | 2回以内                   |
| レタス     | 腐敗病          | 2,000倍       | 収穫30日前まで | 6回以内    |                        | 6回以内<br>(種いもへの処理は1回以内) |
| こんにゃく   |              | 1,000~2,000倍 |          |         |                        |                        |
| たまねぎ    | 軟腐病          | 1,000倍       | 収穫7日前まで  | 5回以内    | 5回以内<br>(種いもへの処理は1回以内) |                        |
| ばれいしょ   | 疫病           | 1,000~1,500倍 |          |         |                        |                        |
|         | 軟腐病          | 1,000倍       |          |         |                        |                        |
|         | そうか病<br>黒あし病 | 60~100倍      | 植付前      | 1回      | 5~10秒間<br>種いも浸漬        |                        |
| たばこ     | 立枯病          | 1,000倍       | 収穫3日前まで  | 2回以内    | 散布又は株元灌注               | 2回以内                   |

## ●効果・薬害等の注意

- 石灰硫黄合剤との混用はさけ、また、ボルドー液を混用する場合は使用直前に混合して下さい。(効果)
- 薬害としてクロロシス(黄化現象)を生じることがあります。特に高温多湿時には留意の上散布して下さい。(薬害)
- 過度の連用を避け、作用性の異なる薬剤と輪番使用して下さい。(耐性菌出現回避)
- ばれいしょの種いも消毒に使用する場合は下記の事項に注意して下さい。
  - ①萌芽後や種いも切断後の処理は薬害を生じるので避け、必ず萌芽前に種いもを切断せずに処理して下さい。特に植付後の地温の上昇が遅れた場合には萌芽や生育遅延が助長されるので春先の気温が低い地域では注意して下さい。
  - ②浸漬処理が長くなったり、高濃度液に浸漬すると薬害が生じやすいので所定の浸漬時間及び希釈倍数を厳守して下さい。
  - ③薬剤処理した種いもは長時間ぬれたままにしておくとう芽遅延等の薬

- 害を生じるので、風通しのよい場所ですみやかに乾燥させて下さい。
- ④種いもを切断する場合は処理した薬液が十分乾いてから行って下さい。
- ⑤薬剤処理した種いもは食料又は飼料には使用しないで下さい。
- はくさいにおいては、高温時又は幼苗期には使用しないで下さい。(薬害)
- キウイフルーツの花腐細菌病に使用する場合は、出蕾後～開花期までが散布適期です。(効果)
- レタス及びキャベツに対しては、高温条件下での連続散布は避けて下さい。(薬害)
- なし及びりんごに対しては、重複散布や多量散布を避け、所定濃度を厳守して下さい。(薬害)
- 有効年内に使用して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

## ●安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。(刺激性)
- 散布時は、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをして、衣服を換えて下さい。
- 作業時の衣服などは他と分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意して下さい。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空袋は、圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は